

特別史跡 加曽利貝塚

平成・令和の発掘調査レポート



加曽利貝塚では、2017年から3年にわたり、45年ぶりの本格的な発掘調査を行いました。
 今回の調査でどんな発見があったのか、レポートします。
 加曽利貝塚博物館 ☎231-0129 FAX231-4986
 月曜日(祝日の場合は翌日)休館

加曽利貝塚ってどんなところ？



加曽利貝塚は、2,000年続いた縄文時代の集落跡がそのまま残る日本最大級の貝塚です。
 直径約140メートルでドーナツ形に貝が積み重ねられた北貝塚と、長径約190メートルで馬のひづめの形の南貝塚が一部で重なり、8の字形に見えるとても珍しい形をしています。
 加曽利貝塚に縄文人が住み始めたのは、今から約7,000年前のことでした。北貝塚は今から約5,000～4,000年前、南貝塚は4,000～3,000年前に残されたものです。

あ、どうも。
 加曽利貝塚PR大使かそりーぬです。
 ワタクシが発掘調査の結果をレポートします！



どんな調査を行ったの？

1964年の南貝塚発掘の際に縄文時代晩期(今から約3,000年前)の竪穴住居跡が見つかった場所を今回の調査地点に選び、加曽利貝塚の集落の終焉(しゅうえん)の姿を探りました。



実は、縄文時代晩期の集落って分からないことが多かったんです。今回の調査でどんな発見があったのでしょうか(ドキドキ♡)

